



# はぐるま

平成28年1月発行

88号

目次

- ・新年のごあいさつ—2
- ・最強傾斜磁場MRI装置導入—3
- ・神経内科領域のMRI診断—4
- ・“がん”と共存していませんか？—4
- ・内分泌代謝内科（糖尿病）  
外来診療のお知らせ—5
- ・看護部紹介—5
- ・一般撮影装置を刷新—6
- ・グループトピックス—6
- ・恒徳会だより—7
- ・外来診療担当医表／編集後記—8



## 新年おめでとうございます



医療法人 恒貴会 理事長  
協和中央病院 院長

中原 昇

また新しい年がやってまいりましたが、昨年は皆様にとってどのような年でありましたでしょうか。良い年であったと思う人、悪い年であったと思う人様々でしょうが、ぜひ今年が良い年になりますよう願っております。

昨年はイスラム国によるテロ、ウクライナ問題、祖国を追われた難民など暗い話題も多かったですが、日本人のノーベル賞受賞など明るい話題もありました。また鬼怒川の氾濫や火山の噴火など自然災害も目立ちましたが、一方北陸新幹線の開通など明るい話題もありました。いまだに復興がままならない氾濫地域の皆様はどのような年越しになったのか考えると胸の痛む思いです。

私どもの施設でも昨年2月に協和中央病院が3回目の病院機能評価を受審して無事再認定となり、病院としての機能が水準に達していることを第三者より認められました。また地域医療再生基金の補助をいただき2台目のMRIを稼働させるべく工事が進行しており、今年2月から本格稼働の運びとなります。脳疾患の初診の患者様にはCTで対処しておりましたがこれからはMRIでの検査を行えることになり、より正確な診断をすることができると期待しております。協和南病院でも薬局等の増築が進行中で完成すれば入院中の皆様にはより良いサービスを提供できると思います。協和ヘルシーセンターでも在宅介護サービスの不足が叫ばれていることへの対応として、11月よりリハビリテーション棟の増築が開始されております。現在の介護サービスの恩恵に恵まれなかった方々を受け入れていく方針で、この春には増築が完成する予定であります。大和クリニック・愛美園でも利用患者様が增加してきております。在宅の患者様へのサービスを充実させていきます。このように表向きには派手さはないものの、着実に施設の充実を図っております。

本年度の目標として協和中央病院では地域の急性期の患者様の受け入れの強化と充実を図ります。また昨年は救急車の受け入れが約1700件ありましたが、これをより増加させ、地域の方々に安心をしていただくよう頑張ります。協和南病院では地域の療養病床病院として内容を充実させていく方針です。協和ヘルシーセンターでは完成するリハビリテーション棟を駆使してより多くの介護サービスを提供できるよう頑張ります。大和クリニック・愛美園もより多くの在宅患者様へのサービスと外来医療の充実を図っていく所存であります。

今年の干支は申、もともと「呻」という字であったそうです。果実が成熟して固まって行く状態を表しているとされます。私どもの施設5つが菌車のようにかみ合い、成熟していききたいものだと思います。地域の医療資源が乏しい中、安心して利用していただける医療・介護の施設となるよう頑張りますので、皆様にもご協力のほどお願い申し上げます。

皆様にとって幸多き年になりますよう祈っております。

## 明けましておめでとうございます



社会福祉法人 恒徳会  
理事長

村田 桃代

新年の抱負を考えるこの時期に、まず1年間を振り返りますが、日本人のノーベル賞受賞や各種スポーツで世界トップクラスの活躍が伝えられる一方で、安保法案の可決で世界における日本の立ち位置も変化し、イスラム過激派のテロのニュースも最近では頻繁に聞かれるようになりました。

異常気象の影響が毎年のようになんらかの大規模な自然災害がおり、また混乱の中、マイナンバー制度も施行されますが、便利になる反面、国にあらゆる個人情報把握されていくことになるのかと思うと、今後は果たして生きやすい世の中になっていくのか、それとも生きにくい世の中なのか分からなくなってきました。

2007年に超高齢社会に突入してから8年程が経過し、超少子化も相まって昨年7月の総務省の発表では国内の日本人の人口は前年比で約27万人減少と、1年でおおよそ水戸市の人口分に匹敵する数の減少と考えると改めて大変な事態であると感じます。

国民医療費の総額も40兆を超えて過去最高を更新しつづけており、医療費増大を少しでも抑制するために、医療の在り方が地域医療構想という名のもと各都道府県での裁量にゆだねられていき、さらには国民健康保険制度の改革にもつながっていくようです。

昨年の介護報酬改定にもはっきりと現れているように、介護職の業務内容もこれまでと同じことを続けているだけでは、事業所自体立ち行かなくなる状況となってきました。

障害者施設においてもご利用者様は年を重ねていき、また入所施設にはますます医療依存度の高い方々が増えていきます。認知症への対応や、今後は看取りについても避けては通れない問題となり介護職員にはより高度な知識やスキルが要求され、今後ますますその方向性には拍車がかかっていくものと思われます。当法人としても何ができるのかをよく考え、できることから形にしていかななくてはなりません。職員の働きやすい環境づくりやスキルアップ、希望者には研修の受講や資格取得などを通してキャリアアップについても可能な限りサポートしていければと考えております。

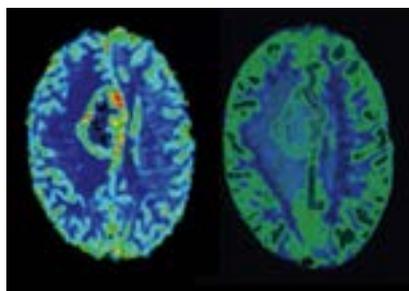
介護の問題は他人事ではありません。皆様がそのような状況におかれたときに安心、信頼できる施設づくりをめざしていきたいと思えます。引き続き皆様のご支援、ご指導ご鞭撻を賜りたく存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 県西地区第1号の 最強傾斜磁場MRI装置の導入 2016年2月稼働予定



協和中央病院  
放射線科医  
阿武 泉



脳血流の評価が可能です



MRIは脳、脊髄の診断のみならず関節、体幹部の疾患の診断に不可欠であることは広く知られております。例えば脳梗塞の早期診断、腰痛症、膝・股関節痛の原因究明、その他認知症の兆候を早期に診断し的確な治療を行い進行を遅らせるなどの目的で広く脳、脊髄、関節、躯幹部の診断に用いられております。

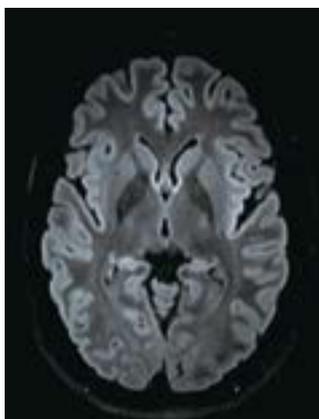
協和中央病院では県内でも1、2位を争う超早期に、まだ大学病院でも導入されていない時代にMRI装置を導入し約25年間診断の有力な機器として運用してまいりました。

今回、予約患者待ち時間短縮と、より高度で詳細な診断を目指して現行の1.5テスラの超電導MRI装置に加えて磁場強度3テスラの最新MRI装置が稼働いたします。少し専門的に申しますと、傾斜磁場強度がすでに稼働している1.5テスラMRI装置の2倍の強度を持ち、より詳細で先端的な検査が可能となります。例えば、脳梗塞にはいまだ至ってない脳虚血を早期に発見

し、現在では治すことができない脳梗塞を未然に発見し処置をすることが可能となる場合があります。脳ドックでご存知の脳内の動脈を観察するMR血管撮影(MRA)は今以上に詳細となり、脳動脈瘤の早期発見に寄与することが考えられます。脳内の微細解剖が今まで以上に鮮明になり脳病変の早期発見に寄与することが期待できます。

さらに今回の機種は核磁気スペクトロスコピーという他にはほとんど導入されていないオプションが導入されており、主として脳内の代謝産物、組成を解析することが可能となり、脳腫瘍が良性か悪性かの鑑別が可能となります。また最近患者数の増加が顕著な前立腺癌の診断にも有力な武器となる可能性があります。

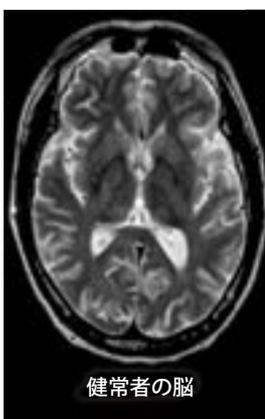
しかしながら、地磁気の数万倍という非常に高磁場を用いた機種のため体内の磁性体、金属等のチェックは今以上の厳格となることをご了承ください。



高精細な脳の画像。任意の断面で撮像可能です



造影剤を用いることなく、高精細な血管画像が撮像可能です



健常者の脳



萎縮の見られる脳

年齢に対する脳の萎縮の評価が可能です

神経内科領域のMRI診断



協和南病院  
院長  
小笠原 正彦

世界的に医学の進歩によって平均寿命が延び、我が国は現在長寿大国としてトップの座にあります。しかし、一方で、人口の超高齢化による様々な問題が発生し、なかでも認知症等の増加と介護の問題が大きく浮上しております。

当法人は、これまで数10年以上の単位で長期にわたり患者様の経過を追うなかで、全体的加齢による全般的運動器(体を構成し、支え、身体運動を可能にする器官)の廃用(使わないことによる筋萎縮をとともう心身の機能低下)を呈する症例が増加し、そこにパーキンソン症状や、認知症状をきたし、それぞれ混在する場合があります。例えばパーキンソン症状にはパーキンソン病や二次性(脳血管障害や薬剤性)パーキンソニズムの混在の

疑いで鑑別が必要となる症例もあり、さらに当院ではパーキンソン症状の原因疾患としての変性疾患である進行性核上性麻痺、皮質基底核変性症、脊髄小脳変性症(多系統萎縮症)等々の方が入院されております。

次に、時にうつ等精神疾患との鑑別も必要な認知症をきたすものとしてアルツハイマー型認知症や脳血管性認知症、その混合型認知症、また、レビー小体型認知症のほか、前頭側頭型認知症、正常圧水頭症や、血清アンモニア値、また甲状腺異常等による代謝性認知症の症例も見受けられます。

以上のような各疾患の診断を問診や治療の効果により鑑別し、特にMRI等により脳の内部の障害されている部位や病変について詳細な画像診断所見の解析を行い、今後一層の治療向上に繋げることで、これからの地域の健康寿命の延びに寄与したいと思います。

あなたはすでに“がん”と共存していませんか？



協和中央病院  
外科医長  
降旗 正

“がん”は、言うまでもなく、我が国における死因第1位の疾患です。中でも我々が担う食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢、胆管などの消化器がんが、その約半数を占めています(図1)。しかしながら、この事実、軽視されております。

日常の診療において、“食欲もあるし、痛みもなく、悪いところは何もないから、検査しなくても大丈夫です”とよく耳にします。少なくとも“がん”に関しては、これは大きな誤認です。“がん細胞”も人間と同じ生物なのです。人体の栄養を利用し、できるだけ見つけられないようにじっと潜んでおります。そして、増殖した時に、人は、体重減少や痛み、食欲不振、下血などの症状を呈し、猛威をふるうのです。そうすると、抑止することは困難です。

女性の死因第一位である大腸がんの精査は、肛門からカメラを挿入するといった検査の特性から、拒否あるいは抵抗のある方が散見されます。従って、有症状で初診した時には、すでに進行しており、その後、手術や抗がん剤投与を施行する例も少なくありません。そしてこの時に初めて、自分が今まで“がん”と共存していたことに気づかされるのです。

“がん”は、早期発見できれば、もはや根治しうる疾患と言っても過言ではありません。症状がない時にこそ、可能な限り、検査を受けるべきなのです。

当院では、“がん”について熟知熟練したスタッフが、“がん”の早期発見、早期治療をすべく、上部、下部消化管内視鏡検査(胃、大腸カメラ)、超音波検査、CT、MRIなどを用い、あらゆる角度から精査、治療を行っております。現に、早期がんについては、内視鏡的切除が可能なものもあり、多くの実績もあります。まずは、私の外来に足を運んで、ご相談ください。適切な精査をご案内させていただきます。

我々には、皆様ががんの予防を周知させる責任が課せられております。しかし、検査を受けるか否かは、皆様の“がん”に対する基本的知識の習得と個々の気持ち次第なのです。この事実から目をそらさず、よく考えてみてください。

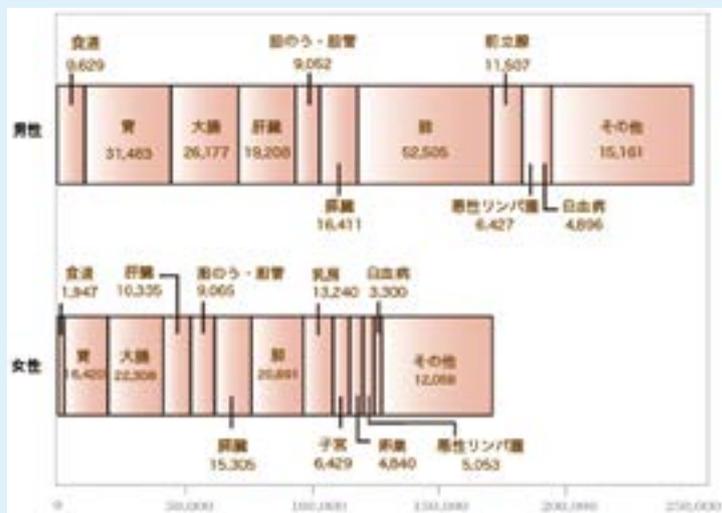


図1

厚生労働省「人口動態統計」2014

# 内分泌代謝内科(糖尿病)外来診療のお知らせ

内科外来において自治医科大学内分泌代謝内科(糖尿病・甲状腺等)の専門医が毎週**火曜日(午前・午後)**および**金曜日(午前)**に診療を行っております。糖尿病診療や内分泌疾患の合併症予防や早期発見に力点をのいた治療を行っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

**毎週火曜日(午前・午後)** 村上 明子医師  
**金曜日(午前)** 武井 祥子医師

## 看護部紹介

### 協和中央病院看護部長就任のごあいさつ



協和中央病院  
看護部長  
北島 美児

新春のお慶びを申し上げます。

昨年10月より協和中央病院看護部長を務めさせていただいております北島と申します。何分にも微力ではございますが、協和中央病院の発展のため、地域の皆様、患者の皆様の健康を守る責任を自覚し健康になっていただく喜びを感じながら毎日を迎えたいと思います。前看護部長同様ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

看護部といたしましては、患者様に住み慣れた地域

で自分らしく生活できますように他職種と協働しチームの力で支援してまいりたいと思っております。

目標といたしまして、安全・安心な看護の提供が出来ますよう職員一同日々研鑽してまいります。教育におきましても力を注ぎ、新人教育では1年間を通して研修計画を実践しております。

そのほかにも認定看護師や様々な研修に参加し看護師のキャリアアップを支援しております。それにより看護の質向上を目指しております。当院におきましても2名の認定看護師が活躍しておりますのでご紹介いたします。



協和中央病院  
副看護部長  
外来看護科  
看護師長  
高橋 安子

### 皮膚・排泄ケア 認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷ケア、ストーマ(人工肛門・膀胱)ケア、失禁ケアを専門としております。創傷ケアは、主に褥瘡(床ずれ)に対して行っており、褥瘡にならないようなケアを検討しております。

ストーマケアは、手術前から、手術に伴う排泄経路の変更がどのようなことなのか、退院後にどのように日常生活をしていくのか、患者様と一緒に考え、患者様にストーマセルフケア指導を行っております。入院中だけでなく、ストーマ外来を通して、退院後もより良い生活が送れますよう取り組んでおります。

スキンケアに関する相談は、患者様だけでなくご家族の方、看護や介護に従事されている院外の方々にも対応いたしております。お気軽にご相談ください。



### 摂食・嚥下障害看護 認定看護師

協和中央病院  
南2階病棟  
看護師長心得  
小河原 幸子

脳外科病棟に勤務し、加齢や脳血管疾患により「口から食べる」ことに障害を来たした患者様に対し、医師、リハビリ、病棟スタッフ、栄養士と共に早期から「口から食べる」を支援しております。

「口から食べる」ことは、活動(生きる)意欲となり、「生きること」を豊かにしてくれます。活力を取り戻すために、看護師として、合併症を予防し症状を早期に安定させ、生活を整え、いつでも食べ始められるような土台づくりから始めております。

患者様を一番理解されているのはご家族です。今までの生活状況や大切にしていること、好きなものなどを情報共有しながら、共に患者様を支えあっていきたく思います。

よろしくお願いたします。



## 協和中央病院



協和中央病院  
放射線技術科  
主任  
野村 正浩



## 一般撮影装置を新しくしました

以前はCR(コンピュータX線撮影)装置を使用しておりましたが、当院では平成27年11月24日よりFPD(フラットパネル型検出器)装置に変更いたしました。

※FPDとはflat panel detectorの略で、フィルムではなく、FPDの板に入射したX線を光に変換し、さらに電気信号に変換するという作業が行われデジタル画像を得ることができるものです。

- **患者様への被曝を少なくすることができます。**  
FPDにすることにより、感度が上がり従来よりも少ない線量で撮影することが可能になります。(以前のCR装置の約半分程度)
- **画像の出力が以前より早くなり、検査時間が短縮になります。**

# グループトピックス

## 療養型病床 協和南病院

### 院内環境整備



協和南病院  
事務課長  
堤谷 博之

協和南病院は、全病床109床が医療型の療養病床ですが、患者形態及び疾病の多様化に伴い、医薬品管理の充実を図るために薬局の拡張工事を行い、平成27年12月に完成いたしました。慢性期医療に関わる医薬品管理と、医薬品情報管理業務を区分けし2名の薬剤師が最適な薬物治療及び医薬品の安全適正使用に努めております。

併せて、既存施設内の改修も行い、女子トイレの増設と、院内感染対策として各病棟に洗浄室を設けました。また、会議室兼研修室を整備いたしましたので、慢性期医療に携わる職員として、安全で良質な医療を提供するため研鑽に励み、今後も患者様の立場に立った医療・介護の提供に努めてまいります。



## 大和クリニック

### の大和クリニックの役割



大和クリニック  
院長  
木村 洋輔

かかりつけ医といつでも連絡がとれる体制があったら安心ですね。大和クリニックは訪問診療を中心に活動し、地域医療や医学生などの教育に

あなたや家族が、体力が落ちて病院に通えなくなったとき。難病があっても自宅で過ごしたいとき。人生の最期は家で過ごしたいと思ったとき。どうしますか？ そのようなとき。

も貢献しているクリニックです。例えば、がん、難病、進行した認知症、自宅で医療機器(酸素、胃ろう、尿のカテーテルなど)が必要、などで、通院が難しい方が訪問診療の主な対象になります。

外来のみの方や、初診の方に、緊急の往診はしていませんので、早めに相談してみてください。自宅には病院のような大きな検査機械はありませんが、地域のスタッフと協力してあなたをサポートいたします。

## 介護老人保健施設 協和ヘルシーセンター

### 通所リハビリテーション拡充



協和ヘルシーセンター  
通所リハビリテーション  
係主任  
田辺 雄也

協和ヘルシーセンター通所リハビリテーションでは、現在1日の利用定員68名、筑西市、桜川市の方が利用され、リハビリや入浴、健康管理のサービスを提供しております。超高齢化社会の中でリハビリに対する要望は強く、利用を希望される方が多く存在します。協和ヘルシーセンターでは平成28年5月に1日の利用定員を100名とし、新たにリハビリ室、普通浴室、特殊浴室等を設けた建物を増築いたします。利用されている方々からは、より良い環境でのリハビリ、入浴、交流活動を待望しているとの声が聞かれております。

介護を取り巻く環境は、日々変化しておりますが『相手の立場に立つ』という基本理念のもと、経験豊富な理学・作業療法士、言語聴覚士による機能訓練や看護・介護の健康管理サービスを提供し、自立へ向けての支援を行ってまいります。地域に根ざした介護老人保健施設として、職員一同日々研鑽し今後も皆様の声に耳を傾け、きめ細やかな援助を提供してまいります。介護保険や、利用に対するお問い合わせは随時承っております。お気軽にご相談ください。



協和ヘルシーセンター・リハビリ棟  
(平成28年5月完成予定)

## すみれ園

外に出て気分転換を



すみれ園  
サービス管理課長  
大久保 英治

すみれ園は、障害を持った方々が必要な支援を受け生活している障害者支援施設です。利用されている方々が日々の生活を送る中で、外出を希望されることが多々あり、個々の希望に沿った内容を可能な限り実施しています。昨年は、リニューアルされた東京駅、東京ドーム、幕張メッセでのコンサート、両国国技館での天龍源一郎最終興行へ行かれた方もおり、外出された方々からは、「コンサートの雰囲気を感じられ良かった」「好きなプロレスを近くで観戦できて楽しかった」等の声も聞かれ、大変満足していただきました。



今年も、希望に沿った外出を通して、張りのある生活に繋がるよう支援してまいりたいと思います。

## 桃香園



桃香園  
生活支援員  
田中 隆子

大人の塗り絵（コリアージュ）

桃香園では日中活動の新たな取り組みとして、塗り絵を行っております。塗り絵と聞くと「子どもがやる物だろう」とお思いになられる方々も多いとは思いますが、実は大人向けの塗り絵が密かなブームになっております。

子ども用の塗り絵との違いは、デザインの緻密さ、複雑さ、美しさ、アート性の高さなどにあり、表現力も豊かな大人だからこそ楽しめる内容となっております。大人向けの塗り絵は脳を活性化しストレス発散やリラックス、集中力を高めるなどの効果があると言われております。何かに没頭するという事は無心になれるので心のリフレッシュにも繋がります。

取り組んでいる難易度はそれぞれですが、ご利用者の方々の表現力や色の使い方の違いなどにより個性がでており、同じ下絵でも塗る利用者の方々によって全く違う作品に見えます。作品を施設内に掲示しておりますので、是非観にいらしてください。



## 董授園

### 就労継続B型事業



董授園  
職業指導係長  
飯田 信宏

「特別支援学校を卒業したがその後どうしてよいか分からない」「障害のため働く意欲はあるが企業で働くことが不安である」「家にいて社会との接点を持ちたい」等々の方に働く場を提供しております。

当園では、下請け作業といたしまして箱折り・自動車部品の検品・白衣のアイロン掛け・部品組み立て(カーテンレール、照明器具)等、自主製品としてパンの製造販売を行っており様々な作業があります。

作業は月曜日から金曜日で9:00より16:30までの1日5時間30分(休憩1時間30分)です。平均工賃は月払いで22,362円(平成26年度実績)で県内の就労継続B



型事業所224施設中17位と高工賃を支給しております。

関心のある方は、お気軽にご連絡ください。

## 恒幸園



恒幸園  
デイサービスセンター  
生活相談係長  
上野 公一

実り多い1年になりますように

今年の干支は「サル」。のんびりお風呂に入っているお猿さんたちの風景を作ってみました。毎日午後に行っているレクリエーションで、創作活動の一環として、折り紙を小さくちぎって貼っていく「ちぎり絵」で、ご利用者の方々に一人1匹ずつ作成していただきました。全員のお猿さんが揃ったところで大きな模造紙に作ったお風呂に入れてあげたところ、「あら～気持ち良さそうね」など歓声が上がりました。「申年」とは、「草木が伸びきり、果実が成熟して堅くなっていく状態」という由来があるそうです。今年も皆様の果実が成熟して、実り多い1年となりますように。



# 外来診療担当医表 平成28年1月

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1 中原	中原	中原	中原	中原	中原	
	2 五味	長	黒川	横田	長	黒川		
●脳外科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。								
外科 消化器外科・肛門科 血管外科	午前	1 佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	石川	
	2 高坂	石川	高坂	降旗	石川	高坂		
	3 石川	降旗						
内科	午前	1 玉野 一般内科	玉野 一般内科	小島 消化器・一般内科	川越 一般内科	川越 一般内科	長山 一般内科	
		2 川越 一般内科	小島 消化器・一般内科	木村 一般内科	荻野 循環器・一般内科	磯田 一般内科	小島 消化器・一般内科	
		3 福島 一般内科	磯田 一般内科	阿部田 一般内科	福島 一般内科	武井 内分泌内科(糖尿病)	(予約)新保 循環器内科	
		5 福田 循環器・一般内科	村上 内分泌内科(糖尿病)	内海 糖尿病外来	阿治部 消化器・一般内科	小林 神経内科	大内 一般内科	
	午後 (予約のみ)	1 佐渡 呼吸器・一般内科	大内 一般内科	玉野 一般内科	磯田 一般内科	大内 一般内科		
		2 阿治部 消化器・一般内科	村上 内分泌内科(糖尿病)		竹森 一般内科	小笠原 神経内科		
	●内科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがあります。●午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	専門外来	午後	村田 睡眠呼吸障害(予約のみ)	加藤 漢方専門外来		菱田 頭痛専門外来		
	午前・午後 (午後予約のみ)		北川 循環器科					
小児科	午前	斎藤	長尾	長尾	佐藤	黒澤	自治医大(交代制)	
	午後	斎藤	長尾		佐藤	黒澤		
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1,3,4,5 木村 第2 藤田	
	●月・木・土(第2)の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1,3,5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。							
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		西川			山内		
泌尿器科	午前		別納		水野		幸	
	●泌尿器科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。●土の受付は10:30までとさせていただきます。							
眼科	午前・午後		高山	高山 (午前のみ)	山下・竹村 (交代制)	高山 (午後は予約のみ)		
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 (土は午前のみ)	1 串田	串田	串田	串田	大谷津	串田	
		2 仙名	仙名	鹿志村	仙名	仙名	仙名	
		3 山下						
	午前	4 第1神部 第3野口				第2,第4 森		

※受付時間《午前の部》月・火・木・金(7:30~11:30) 診療開始 9:00  
水・土(7:30~11:00) 診療開始 9:00  
歯科・歯科口腔外科(8:30~11:00) 診療開始 9:00  
※水・土の午後及び日・祭日は、休診です。  
※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》皮膚科・眼科(13:30~15:30) 診療開始 14:00  
眼科(木)(13:00~15:00) 診療開始 13:30  
内科(13:30~16:30) 診療開始 14:00  
頭痛専門外来(木)(13:00~15:30) 診療開始 13:30  
小児科(14:30~16:30) 診療開始 15:00  
歯科・歯科口腔外科(13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

## 安心が地域に根ざす にいばりの医療・福祉の杜

**協和中央病院**  
脳神経外科・内科・呼吸器科・外科・消化器科・整形外科・眼科  
泌尿器科・皮膚科・小児科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科  
歯科・歯科口腔外科・漢方内科  
茨城県筑西市門井1676番地1 電話0296-57-6131(代)  
E-mail: kyowa@kokikai.com

療養病床  
**協和南病院**  
茨城県筑西市門井1674番地1 電話0296-57-5133(代)  
E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設  
**協和ヘルシーセンター**  
茨城県筑西市門井1669番地2 電話0296-57-6030(代)  
E-mail: healthy@kokikai.com

**大和クリニック**  
茨城県桜川市大國玉2513番地12 電話0296-58-7788(代)  
E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション  
**愛美園**  
茨城県桜川市大國玉2513番地12 電話0296-20-6780(代)  
E-mail: aibien@kokikai.com

障害者支援施設  
**すみれ園**  
茨城県筑西市門井1677番地21 電話0296-57-5125(代)  
E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設  
**董授園**  
茨城県筑西市門井1687番地1 電話0296-57-3400(代)  
E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設  
**桃香園**  
茨城県桜川市大國玉2513番地10 電話0296-58-7870(代)  
E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム  
**恒幸園**  
茨城県筑西市向川澄98番地1 電話0296-57-7268(代)  
E-mail: koukouen@kohtokukai.jp

**編集後記** 明けましておめでとうございます。  
新しい年がスタートしましたが、まだ寒い日が続いております。インフルエンザや胃腸炎にお気をつけください。  
最新式MRI装置の稼働が近づいております。診療放射線技師としまして、自分自身の技術を向上させ患者様に高画質な画像を提供できるように学んでいきたいと思っております。  
広報誌「はぐるま」も今回の発行で88号となりました。ご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。これからも編集委員より院内の新しい情報を発信していきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。  
(野村)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただきます。

●発行責任者／中原昇  
●編集委員／飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 延島喜恵子 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平／飯田信宏 渡辺昌彦

〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131



ホームページアドレス  
<http://www.kokikai.com>  
皆様のアクセスをお待ちしております!